

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

1 現状と課題

- ・本県の森林が育てる時代から利用する時代を迎え、主伐・再造林の推進や県産材供給体制の整備等により、素材生産および造林活動が本格化しており、林業就業者の確保と育成が必要。
 - ・林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のぜい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害の発生率は全産業で最も高い。

2 事業目的

林業就業者の確保・育成を図るため、林業事業体の事業の合理化、雇用管理の改善等を推進するとともに、多様な人材の活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①新規就業者の確保と就業環境の改善

- ・就職説明会や就業希望者向けの研修、オンラインセミナー等の機会の確保
 - ・林業事業体の福利厚生の充実に向けた支援
 - ・安全訓練環境の整備、安全研修や安全パトロールの実施
 - ・人材育成機関及び試験研究機関の連携により森林・林業を支える人材の育成・輩出及びイノベーションの創出に向けた取組を支援

②スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた問題解決

- ・スマート林業技術を活用して皆伐等の素材生産事業を行う林業事業体について、システム等の導入を支援
 - ・ＩＣＴを活用した林業等の生産性の向上を図るため、ドローン・ＧＩＳ・解析ソフト・各種システム等のＩＣＴを高度に利活用する人材の育成

③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資

- ・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資
 - ・林業就業者確保のために、就業準備及び研修参加に必要な資金を融資

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし =: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①	移住又は他産業からの転職による林業就業者数	人	88	76	↗	R8.9月 判明	—	—	69	△	林業就業者の確保・育成を目指し、移住又は他産業からの転職による新規就業者に対する支援予定件数を目標として設定
②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	社	59	68	↗	R8.5月 判明	—	—	75	△	R5年度時点で約6割の事業体導入があるスマート林業技術について、R9年度までに約8割（約80者）の技術普及を目指す目標として設定
③	改善資金の貸付件数	件	2	3	↗	R8.1月 判明	—	—	4	△	林業事業体の経営改善を目指すために、直近5年間の事業実績(平均2件)の2倍の貸付件数を目標として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

6 事業コスト

(单位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	182,425		182,425	18,030		7.6
	要求	186,271		186,271	18,030		
R7年度		0	214,105	97,207	311,312	15,379	7.6
R6年度		0	183,976	△ 57,408	126,568	16,347	123,026
要求からの 主な変更点		林業労働力緊急確保対策事業及び林業労働災害防止対策事業について、実施方法を見直し、一部経費を減額					

事業番号	10 02 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局 林務部	課・室 信州の木活用課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	林業就業者確保・育成事業	124,774 千円	125,427 千円	予算案 109,966 要求 113,712 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	森林整備担い手育成確保総合対策事業	直接 補助金	・新規林業就業者確保のための共同就職説明会の開催等 ・林業労働力確保支援センターに対する補助 共同就職説明会：4回、信州就林セミナー：3回	
2	信州の森林で働く人材確保推進事業	補助金	・林業に就業する県外からの移住者や新卒者への移住経費を支援 ・他産業から林業に転職する者及び新卒者への移住・就業準備経費の支援 移住者支援：11人、林業キャリアスタート支援：49人	
3	林業労働力緊急確保対策事業	補助金	・林業事業体の新規就業者に対する奨励金の給付 ・林業新規就業者に対する基本講座の開催、資格取得に対する補助等 新規雇用者数：28人、林業新規就業者基本講座：2回、資格取得者：20人	
4	林業労働力活用促進対策事業	補助金	・地域を超えて労働力を移動する場合の機械運搬や通勤費に対する補助 ・林業団体による専門家派遣や森林経営計画策定等の研修会に対する補助 マッチング箇所：10箇所、研修会：5回	
5	多様な林業の担い手確保育成事業	直接 委託 補助金	・中高生向けの職場体験や事例調査、動画教材制作及びイベントの開催等 ・林業の情報を統一的に発信するためのプラットフォームの充実 ・創業等に必要な初期投資に対する補助 中学・高校における林業職場体験3回、事例調査：50校、創業支援：5事業体	
6	林業就労条件整備促進事業	補助金	林業事業体が就労条件改善を目的として実施する、退職手当掛金、蜂アレルギー検査、エピネフリン注射器購入費用、振動病特殊検診受診等の経費に対する補助 退職金共済掛金：778名、蜂アレルギー検査：208名、振動病特殊検診：926名	
7	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	・安全衛生指導員による林業事業体に対する安全巡回指導 ・林業安全技能指導員養成プログラムの開催 ・伐木チャンピオンシップ大会の開催 ・林業技能検定に向けた研修会の開催、受験の支援 安全巡回指導：32回、労働安全衛生対策セミナー：2回、技能検定研修：2回	
8	林業士等養成事業	直接	・森林・林業セミナーの開催、林業士入門講座の開催 ・林業士を認定するための認定審査委員会の開催 森林・林業セミナー参加者：15人、林業士入門講座参加者：10名	
9	木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業	直接 委託	・木曽谷・伊那谷フォレストバレー構想の運営体制の構築 ・森林・林業人材育成プログラムに係る活動支援 運営協議会の開催：2回・専門会議の開催：3回	

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	森林組合等活性化対策事業		14,962 千円	30,378 千円	予算案 16,589 要求 16,689 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林組合等活性化対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合法に基づく常例検査の実施 ・生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 <p>全面検査数：12組合（うち会計士同行6組合）、部分検査数：6組合</p>		
2	持続的な林業経営の確立支援事業	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・安全技術、林業技術の学び直しの集合研修の実施 ・事業体ごとの課題にあわせた個別研修の実施 ・森林組合の経営リーダー育成のセミナーの実施 <p>集合研修：3回、個別研修：8回、経営リーダー研修：2回</p>		
3	スマート林業構築普及事業	直接 委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート林業を実践するために必要なシステム等の導入に対する補助 ・I C Tを利用したスマート林業を実践する人材の育成 <p>支援事業体数：8事業体、ドローン操作資格支援数：4名</p>		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	林業事業体支援事業		38,600 千円	58,300 千円	予算案 55,870 要求 55,870 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業・木材産業改善資金貸付金	貸付金	<p>林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資</p> <p>県から事業体への貸付件数：4件</p>		
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	<p>林業就業者確保のために、（一財）長野県林業労働財団を通じて就業準備及び研修参加に必要な資金を融資</p> <p>労働財団から就業者への貸付：3件</p>		